魚道リフォームのご案内

わずかなリフォームで、よりよい魚道に

多くの河川には,魚類やエビ・カニなどが利用できるように魚道が設置されています。魚道の設置によって,河川の生態系の連続性が保全され,海と川を行き来する生物にとっての生活が保証されます。しかし,それらの中には,魚道としての機能を十分に発揮できていないものも多くみられます。

当協会では、豊富な現地経験をもとに、流速や落差などを生物の視点から評価し、現存する魚道について問題点を抽出します。問題のある魚道には、なるべく軽微なリフォームで最大の効果を得るようなリフォーム案を提示いたします。





● 魚道の効果検証の流れ

魚道・生息魚類の 情報を収集・整理

·河川名,位置,魚道の形式など ・周辺に生息する魚類などの種類



魚道部での採捕調査 流速や水深などの確認



魚類調査



を確認

問題点の抽出

流速は適切か? 水深は適切か?

対象魚の生態・生活史を考慮しているか?



網による採捕調査





ム案を作成

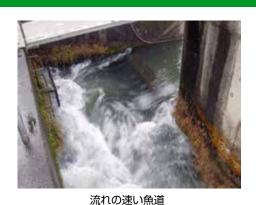
抽出された問題点を解 決するためのリフォー 不要

魚道施工の良い事例として,今後 の設計に役立てる



流速の測定

仮改修による現地実験によって,リフォームの効果を確認





流量の制御試験



九州環境管理協会

魚道・魚類・調査担当:環境部 水生生物調査課

料金・見積担当 : 総務部 渉外課

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1 TEL 092-662-0410

FAX 092-662-0411(代表) 092-662-0424(水生生物調査課) e-mail:syougai@keea.or.jp http://www.keea.or.jp